



寺院名物シリーズ⑳ 光輪寺 (鳥取因幡組)

光輪寺の権の木 いつからここに居るのか…。光輪寺の境内に、二本の権の大樹がどっしりと根をはっています。幕末頃、光輪寺が二度の火災に遭い、鹿野城下の家老屋敷跡である現在地に引っ越して来たときには、すでに先輩として居られたようです。木陰を作り、風を防ぎ、秋にはたくさんの実を落とし、それを拾いに来る子どもの子守りをしてくれます。(実を炒って食べると香ばしくておいしいです。) これからも守り伝えてゆくべき銘木でありましょう。・・・どうか私の代で枯れないで・・・

山
陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
発行 山陰教区委員会
〒690-0001 松江市大正町四三ノ一
本願寺山陰教堂

TEL 〇八五二 〇四七四七
FAX 〇八五二 〇八三五一
発行者 中尾了信

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の願うもの

山陰教区教務所長 中尾了信

二〇一二年四月から始まりました「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)が三年を経過いたします。当山陰教区では「日常の寺院活動・地域と寺院とのつながりを大切にす

る」を目標に推進していただいているところでもあります。二〇一二年に教区内寺院の実態調査が実施されました。現状を把握し、明らかにした課題を改善するための資料とするものです。九割の寺院から回答を頂戴しました。その結果は既にご承知のように、十五%の寺院に住職がおられないこと、三十五%の寺院に後継予定者がおられないことなど、予想していたとはいえ厳しい現実があります。

昭和六十三年に「寺が消える」という特集番組がNHKで放送されて以来、過疎による深刻な状況や地域自治の困難、寺院の生活維持や後継者不在など問題が明らかにになりました。放送後の三十年足らずの間に教区内で四十余ヶ寺が解散・合併しております。そのような結果に至った方々のご苦労と悲しみは察するにあまりあります。

その歴史に学び、この教区が抱える課題を実践目標にかえて、日常の寺院活動を点検し、地域の人が訪れやすい寺院環境をつくることによつて、お寺を中心とした時代にあった新たなコミュニティづくりをめざし、地域と寺院とのつながりを深めていく方策を探り、これからのお寺のあり方を問う取り組みです。本年度は、「勤式練習所」で勤式の研鑽を、寺院の後継者問題の一助となればと「ご縁まち交流」として出会いの場を開催いたしました。しかし、寺院活動の基本は、そこにお寺が「在る」ことにより、地域の中で人と人とのつながりを感じて、ともに体を動かし、自分やまわりの方々に思いを巡らし、集い、顔を会わせ、そして手を合わす場所であるはずで

その実状に危機感を持たれたご住職方が、さまざまな事情で郷里を離れたご門徒とのつながりを保つため

「そこに人がいる限りお念仏がある。」そういう場所が未来に向かってずっと続くことを願うばかりです。

合掌

三地区門徒総代会研修会

山陰教区門徒総代会 会長 上田正吉

平成二十六年山陰教区門徒総代会研修会を、鳥取、出雲、石見三会場で実施した。講師には本願寺総合研究所研究員の那須公昭先生を招いた。従来は分科会毎に分れて、テーマを設定し話し合いをしていたが、今年度は各会場ごとに二名の提案者によって実践活動による提案をした。

テーマ「少子高齢社会における寺院維持運営について」

○鳥取会場 鳥取因幡組 願正寺

期日 十一月二十六日

提案者 谷川輝久(鳥取因幡組 正栄寺)

提案者 下田貞夫(鳥取伯耆組 覺善寺)

○石見会場 石央地域地場産業振興センター

期日 十二月二日

提案者 松下 誠(大田中組 浄福寺)

提案者 山根哲朗(益田組 立安寺)

○出雲会場 出雲市民会館

期日 十二月三日

提案者 春日一男(松江組 順光寺)

提案者 新宮 功(出雲組 源光寺)

I 各会場での実践活動報告概要

○若者の寺参りが少ないので、若者が気軽に寺へ足を運べる対策としてのコンサートや落語の開催、奉仕活動後の懇親会等により魅力ある寺、自分達の寺という意識を培う。

○各寺の活動としては報恩講前の仏具磨き、地区あげての大掃除を実施

施している。

○住職・坊守が囲碁、大正琴、茶花等の指導による会場を寺院が提供し、門徒以外の人も各種法要へ参詣するようになった。

○サツマイモ栽培を門徒が主体となつて、休耕田三反を利用、事業費(一口千円)と住民のボランティアで実施している。また、門徒以外にもその趣旨の理解を得て輪が広がり、その成果は地域の力となっている。

○東京在住の住職が年六回の法要に帰省、それ以外は地元門徒が管理している。

II 講師総評

少子高齢化過疎化にともなつて、人口減少による自治体消滅の可能性が指摘されている。開かれた本堂、地元の特徴を活かした活動、そして寺院活動として捉える寺として今後を取り組む必要がある。

III 終わりに

研修会は三会場、延べ人数二六三名の参加の下に盛大に開催された。今後の課題に向かつて、住職・総代が一体となつて取り組んで行きたい。



御正忌報恩講

二〇一五(平成二十七)年一月二十一日(水)、本願寺山陰教堂御正忌報恩講法要を今年もお勤めさせていただきました。松江組内を中心とした御法中、並びに山陰教区雅楽声明の会「雅龍会」の皆さまに御出仕戴き、午前の法要では宗祖讃仰作法第一種、午後の法要は、宗祖讃仰作法第三種(音楽法要)のお勤めをいたしました。

宏林晃信師(兵庫教区阪神南組浄元寺)のご法話をご参拝の皆さまと一緒に聴聞をさせていただきました。

お昼には、松江組眞光寺の坊守さまにご協力いただき、仏教讃歌の練習会。

今年も雅龍会の皆さまによる雅楽の楽器の説明と実演を行いました。

多くの皆さまのご参拝をいただき、ありがとうございました。ようこそお参りくださいました。



伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 **古田た佛具製作所**

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーファックス 0120-343-036

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB中国四国 松江支店**

〒690-0003
松江市朝日町498-6 松江駅前第一生命ビル2階
TEL 0852-23-6720
FAX 0852-23-7739
営業時間：9:30~17:30 (土・日・祝日休業)

第十五回ビハラー活動全国集会の報告

佐波組 明光寺 西原慎治

このたび初めてビハラーの全国集
会に参加いたしました。研修時間
は一泊二日の実質八時間、分科会は十
に及び、開催要項を一目見たときか
ら、その内容の深さに期待を膨らま
せておりました。初日の開会式では、
ご門主が挨拶の中で『浄土真宗の教
章(私の歩む道)』に記されている「自
他ともに心豊かに生きることのでき
る社会の実現」という部分をご引用
されたことにより、ビハラーが宗門
の根幹にかかわる大事な理念である
ことを再認識いたしました。今回の

集会のベースとなる、志慶眞文雄先
生の基調講演では、ビハラーに関わ
るうえで「生死の苦海の中にある私
たちは、自らの計らいではなく、他
力本願の縁に遇うことによつて初め
てこの生死の問題を超えることがで
きる。」という信仰の必要性を強く
感じました。分科会では、施設職員
さんの抱えている苦悩についても話
が及び、とても深い気付きを頂きま
した。全体を振り返りますと、未来
への可能性を感じる熱い集会であり
ました。

実践運動委員会(總會) 報告

二〇一五(平成二十七)年二月
二十四日火曜日午前十一時から午後
三時まで、本願寺山陰教室にて開催
されました。

平成二十六年度事業報告を行い、
部会、担当者会、行事報告をしまし
た。平成二十五年度の山陰教区各組
重点プロジェクト報告数は、全国
三十一教区中、八番目でした。

平成二十七年事業計画では、新
しい教区総合基本計画、重点プロ

ジェクト案が了承されました。また、
講師派遣制度の説明、戦後七十年の
節目を迎えるにあたり、教区で千
鳥ヶ淵法要へ団参計画ができた。
た。

その他、PDCAや内規変更も了
承されました。また、この三年間の
重点プロジェクトを簡単な冊子にし
て記録として残すこととなりました。

同朋社会部では、東日本大震災を
風化させないための研修会と、千
鳥ヶ淵法要団参が計画されました。

伝道広報部では、僧侶研修会が八
月二十六〜二十七日に出雲市民会館
で、内藤知康和上をお迎えし開催さ
れた。



れます。勤式練習所は、会場を前期
―江津の千田浄光寺様、後期―松江
の本願寺山陰教室で開催されます。

寺院活動支援部会ではご縁まち交
流について、成果と反省、今後の継
続計画がなされました。キッズサン
ガと、こども若者ご縁づくりについ
ても話しがなされました。二十七年度以
降は過疎問題にも取り組みたいとの
意向です。

閉会の挨拶で副委員長は、私見な
がら、イスラム国問題や、少年の事
件など社会問題に触れて今後これら
にも取り組む必要性を示唆されまし
た。

御本山 近 用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055

(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)

FAX (075) 371-5088

御本山御用達 開明社員

井筒法衣店

(〒600-8503) 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)

フリーダイヤル TEL 0120-075-720

フリーダイヤル FAX 0120-075-490

袴・袴式
・門徒衣一
旗・稚児一
珠・稚児一
旗・稚児一
旗・稚児一
旗・稚児一
旗・稚児一
旗・稚児一
旗・稚児一

地区別布教大会感想

邑智東組 高善寺 武田正文

平成二十七年三月二・三日、邑智ブロックが引き受けとなり、地区別布教大会が開催されました。自坊であります高善寺も会所の一つとなりました。ご門徒の皆様は、いつもの法座と違って二名のご講師のお話が伺えるということでも楽しみにしておられました。

高善寺には藤森観海先生と波北頭先生におこし頂きました。お二人とも優しく穏やかな口調で話され、先生方のお人柄が現れていたように思いました。波北先生は、幼い娘さんとのやり取りを例に挙げながら、わからないことをそのままに受け止めることの大切さをお話頂きました。藤森先生は、お参りの皆さんとじゃんけんをし、わざと負けることが難しい自分の姿に、遊び心を交えながら気づかせて下さいました。仏法のお話のなかに、引き込まれるような例や、楽しい遊びの瞬間があることよって、仏教をとて身近に感じることができました。ご門徒の皆様もお聴聞するなかで自然と笑顔になり、この度のご縁をとて喜んでおられました。

二日目には、備後教区の福岡玄猷

先生に『お寺の魅力大発見』必要とされている私たち』というテーマで研修会をしていただきました。特に印象に残ったのは、絵本を用いて法話をされたことです。研修では福岡先生が実際に絵本の読み聞かせをしてくださいました。改めて絵本と向き合ってみると、そこに表れているテーマは人間の本質に迫るものであり、言葉の一つ一つがよく心に届いてくることを感じました。直接的に仏教をテーマにしていなくても、いのちや人間と深く向き合っていくと、自然と仏教の考え方へと近づいているようでした。また、福岡先生は、現在の老病死がみえにくくなった社会はお釈迦さまが王子だったころの状況に通じるところがあるとも仰っていました。

段々と仏教が伝わりにくい社会になっていくのかもしれない。しかし、今回の布教大会を通して、仏教への入り口は様々にあることにも気がつきました。仏教を真面目に難しく表現するだけでなく、実際に目の前におられる方に届くにはどうすればよいのかということは今後しっかりと考えていきたいと思いました。

「連研履修者研修会」に参加して

大田東組 専勝寺門徒 坪野良子

二月二十八日大田東組真浄寺において、「実践運動と門徒推進員」をテーマに三十人の参加者のもと、履修者研修会が開催されました。

午前中は山陰教区教務所長・中尾了信師のお話、雅龍会代表・山崎崇峰師の仏事勤行指導があり、午後は教区連研講師・藤森観海師らによる連研ノートE・問十二「自他ともに心豊かに生きる」の問題提起と、一時間の話し合い法座がありました。

その後、中央教修のすすめ、修了証授与と終日充実した研修会でした。

私は話し合い法座の記録係を担当することになり、大田東組の連研で

毎回記録係をやっておられたスタッフのご苦労が身に染みしました。他の参加者の話をよく聞き、自分はどう思うか、と自問自答しながらの記録でした。これまで短くまとめて話し合いに臨んでいなかったことに気づかされ、皆さんが話される思いをまとめて報告することの難しさを実感いたしました。

本願のおはたらきにより自己中心性に気づかされ、仏書を読み、聞き書き、話すことに親しみながら感性を育て、心豊かに生きる世界をご教示くださった研修会であったように思います。

布野信之宗会議員、宗会副議長に就任

山陰教区選出の布野信之門徒宗会議員（神門組・長楽寺門徒）が、第三〇八回定期宗会最終日の三月五日、藤本毅副議長辞任に伴う副議長選挙で当選し、宗会副議長に就任されました。

山陰教区選出の布野信之門徒宗会議員（神門組・長楽寺門徒）が、第三〇八回定期宗会最終日の三月五日、藤本毅副議長辞任に伴う副議長選挙で当選し、宗会副議長に就任されました。

布野副議長は、宗会議員三期。副議長一回目。中央寺院振興対策委員会委員として過疎対策にご尽力いた



一門推実践運動研修会一

いま一度「わたしにできるお手伝い」とは

浜田組 正蓮寺 佐々岡 光宏

すべてのモノの豊かさの時代、いま心が満たされないこのご時世に、地域や人々とのきずなやつながりの大切さを感じる今日この頃であります。

この三月七日、大田東組高林寺ご住職の菅原俊軌師をお迎えして「わたしにできるお手伝い」をテーマに実践運動研修会が開催され、人としての生きざまや宗教観を改めて問直すよい機会を得ることができました。

無宗教であるという人や、宗教には何の関係もなく、また関心もないという人もいるなか、私たち宗門がお念仏のみ教えを広め、あらゆる人々に阿弥陀如来の「智慧」と「慈悲」をお伝えされるお寺さまのお手伝いをさせて貰いたいと思うのです。そして、それは正に菅原俊軌師の「伝道掲示板」の活用であり、妙好人前川五郎松翁の一文を例にされた心の

「ハガキ」であり、五十六例にも及ぶ「ことば」の数々…など。菅原俊軌師の、より具体的でわかり易い、ご法話がとても印象的で心に強く残りました。

私たち門徒推進員が、日々の生活に根差した実践運動を心がけ、お寺さまと共に運動を推進していききたいと思うのです。

まずは手を合わせることから。「姿は見えないけれども、お念仏のなかに語りかけ、その大いなる世界に導いて下さると感じる事ができるのです」

合掌は、家庭でもできる浄土真宗の実践の第一歩なのですと教えていただいたことでありました。

一「蓮弁づくり」に悪戦苦闘一

大田中組 浄福寺 高津道子

三月八日、ポカポカと小春日和のよいお天気の中、教区の若寺族婦人研修会が開催されました。

世界遺産である石見銀山での研修という事もあり「法灯の続く陰に」との講題で、石見銀山と宗門の関わりなどお話し頂き、初めて聞く事もあり大変興味深くお聞きしました。ご講師の西本寺前ご住職様は、石

見銀山でボランティアガイドをされていただけあって、とてもわかりやすく話して下さり、研修終了後も、色々石見銀山のガイドをして頂き、参加された皆さんも喜ばれていました。

午後からは、満行寺ご住職様をご講師に「蓮弁」のつくり方を教えて頂きました。

皆さん蓮弁づくりは初めてで、蓮の花びらの形に切った半紙と茶布巾を手に悪戦苦闘。でもなかなか綺麗にシワが寄らなくて…。

あちらこちらから、楽しそうな笑い声が聞こえていました。

出来上がった「蓮弁」はとてもお供え出来そうにもありませんがきつと報恩講には、各寺院に皆さんの力作が並ぶことでしょう。たぶん…。(笑)

梅の花の香りに包まれて、とても有意義な一日を過ごす事が出来ました。

ありがとうございました。

2015(平成27)年度「燈映会」出講予定

燈映会法座	実施月日	出講者名	寺院名
各月午後1:30～	4月21日(火)	徳川 真英	大田東組浄土寺
	5月21日(木)	小玉 教雄	千須賀組浄福寺
	6月19日(金)	佐々木かおり	三隅組明顯寺
	7月21日(火)	北島 清秀	神門組乗光寺
	8月21日(金)	菅本 了道	大田東組立善寺
教堂落成記念法要	9月16日(金)	小笠原宣隆	邑智東組西福寺
	10月21日(水)	朝枝 暁範	安芸教区山県中組本立寺
御正忌報恩講法要	12月21日(月)	三浦志保子	江津組正福寺
	1月21日(木)	本多 晶道	滋賀教区蒲生下組願證寺
	2月19日(金)	玉野 覚明	飯南組明覺寺
	3月18日(金)	三明 淨信	大田西組照善坊

●各月午後1:30～ ※教堂落成記念法要、御正忌報恩講法要は午前10:00～と午後1:30～の二座。



2013(平成25)年度山陰教区一般会計歳計決算

【歳入】

經常部

款 項	25年度決算額	25年度予算額	対比△減
1 教区賦課金	33,385,250	33,350,000	35,250
1 本年度賦課金	33,331,750	33,300,000	31,750
2 過年度賦課金	53,500	50,000	3,500
2 宗派助成金	12,745,612	12,700,000	45,612
1 宗派助成金	12,745,612	12,700,000	45,612
3 願記手数料	2,147,500	2,000,000	147,500
1 願記手数料	2,147,500	2,000,000	147,500
4 回 金	3,865,000	3,900,000	△ 35,000
1 回 金	3,865,000	3,900,000	△ 35,000
5 雑 収 入	3,624,425	3,350,000	274,425
1 雑 収 入	3,624,425	3,350,000	274,425
6 前年度繰越金	12,215,785	12,200,000	15,785
1 前年度繰越金	12,215,785	12,200,000	15,785
經常部合計	67,983,572	67,500,000	483,572

【歳入】

臨時部

款 項	25年度決算額	25年度予算額	対比△減
1 協賛金	556,625	1,000,000	△ 443,375
1 協賛金	556,625	1,000,000	△ 443,375
2 特別協賛金	0	0	0
1 特別協賛金	0	0	0
臨時部合計	556,625	1,000,000	△ 443,375
歳入総計	68,540,197	68,500,000	40,197

【歳出】

經常部

款 項 目	25年度決算額	25年度予算額	対比※超過
1 教区事業費	15,472,449	16,310,000	837,551
1 総合教化企画費	1,612,444	1,750,000	137,556
1 御同朋の社会をめざす運動推進費	1,612,444	1,750,000	137,556
2 教化費	8,654,005	9,260,000	605,995
1 寺院機能振興費	864,150	1,050,000	185,850
2 婦人青少年費	1,455,000	1,500,000	45,000
2 婦人青少年費			
3 総代・壮年費	500,000	500,000	0
4 研修費	1,127,225	1,300,000	172,775
5 矯正福祉費	300,000	300,000	0
6 災害見舞金	3,865,000	3,900,000	35,000
7 文書伝道費	538,830	700,000	161,170
8 教化活動費	3,800	10,000	6,200
3 助成費	5,206,000	5,300,000	94,000
1 布教団助成金	600,000	600,000	0
2 各種団体助成金	703,000	750,000	47,000
3 地方教化助成費	3,903,000	3,950,000	47,000
2 会議費	1,137,086	1,300,000	162,914
1 会議費	1,137,086	1,300,000	162,914
1 教区会議費	858,100	900,000	41,900
2 組長会費	133,450	200,000	66,550
3 各種会議費	55,000	100,000	45,000
4 職員会議費	90,536	100,000	9,464

【歳出】

經常部

款 項 目	25年度決算額	25年度予算額	対比※超過
3 教務所費	22,312,991	22,970,000	657,009
1 人件費	18,601,895	18,720,000	118,105
1 教務所職員俸給	11,834,400	11,850,000	15,600
2 賞与	2,710,200	2,720,000	9,800
3 退職交付金	0	0	0
4 福祉費	2,456,895	2,450,000	※6,895
5 諸手当	1,500,400	1,600,000	99,600
6 教区勤式指導員事務費	100,000	100,000	0
2 事務費	2,524,670	2,900,000	375,330
1 通信印刷費	1,444,380	1,600,000	155,620
2 事務消耗品費	504,614	600,000	95,386
3 事務諸費	507,755	600,000	92,245
4 備品費	67,921	100,000	32,079
3 旅費	914,720	1,000,000	85,280
1 交通費	914,720	1,000,000	85,280
4 諸費	271,706	350,000	78,294
1 慶弔供養費	80,000	100,000	20,000
2 接待費	27,960	50,000	22,040
3 渉外費	40,000	100,000	60,000
4 雑費	123,746	100,000	※23,746
4 回金	18,354,310	18,250,000	※104,310
1 回金	18,354,310	18,250,000	※104,310
1 山陰教堂運営費	14,079,320	14,100,000	20,680
4 1 1 山陰教堂運営費			
2 事務機購入費	300,000	300,000	0
3 災害対策費	2,924,990	2,800,000	※124,990
4 退職積立金	1,000,000	1,000,000	0
5 キッズサンガ事業費	50,000	50,000	0
6 「各種法要」積立金	0	0	0
7 平衡資金	0	0	0
5 宗会議員選挙費	24,000	50,000	26,000
1 宗会議員選挙費	24,000	50,000	26,000
1 宗会議員選挙費	24,000	50,000	26,000
6 予備費	0	8,620,000	8,620,000
1 予備費	0	8,620,000	8,620,000
1 予備費	0	8,620,000	8,620,000
歳出合計	57,300,836	67,500,000	10,199,164

【歳出】

臨時部

款 項	25年度予算額	25年度予算額	対比※超過
1 山陰教堂回金	556,625	1,000,000	△ 443,375
1 山陰教堂回金	556,625	1,000,000	△ 443,375
臨時部合計	556,625	1,000,000	△ 443,375
歳出総計	57,857,461	68,500,000	△ 10,642,539

歳入総計	68,540,197
歳出総計	57,857,461
差引金額	10,682,736

2015 (平成27) 年度山陰教区一般会計歳計予算

【歳入】

經常部

Table with 4 columns: 款 項, 27年度予算額, 26年度予算額, 対比△減. Rows include 1 教区賦課金, 2 宗派助成金, 3 願記手数料, 4 回 金, 5 雑 収 入, 6 前年度繰越金, and 經常部合計.

【歳入】

臨時部

Table with 4 columns: 款 項, 27年度予算額, 26年度予算額, 対比△減. Rows include 1 協賛金, 2 特別協賛金, 臨時部合計, and 歳入総計.

【歳出】

經常部

Table with 4 columns: 款 項 目, 27年度予算額, 26年度予算額, 対比△減. Rows include 1 教区事業費, 3 助成費, 2 会議費, and 歳出総計.

【歳出】

經常部

Table with 4 columns: 款 項 目, 27年度予算額, 26年度予算額, 対比△減. Rows include 3 教務所費, 4 旅費, 4 諸費, 4 回金, 5 宗会議員選挙費, 6 予備費, and 歳出合計.

【歳出】

臨時部

Table with 4 columns: 款 項 目, 27年度予算額, 26年度予算額, 対比△減. Rows include 1 山陰教堂回金, 臨時部合計, and 歳出総計.

2015 (平成27) 年度 山陰教区行事予定・報告

部 門	行 事 名	期 日	会 場	講 師	参加者
御同朋の社会をめざす運動教区委員会	実践運動推進委員会 (総会)	27 年 4 月 / 28 年 2 月	山陰教堂	なし	
	組長・各組選出者研修協議会 (実践)		山陰教堂		
	同朋社会研修会	7 月 9 日 (木)	出雲市民会館	湯澤義秀師	
	ご縁まち交流	28 年 2 月予定			
	キッズサンガ通信の発行				
	実践運動ブロック連絡協議会 (5 ブロックごとに自主的に開催)	—	各地区にて開催		
	実践運動僧侶研修会 (組、ブロック開催)	—	各組にて開催		
	実践運動推進協議会 (組、ブロック開催)	—	各組にて開催		
	連研のための研究会				
	連研新教材学習会				
矯正	矯正教化連盟山陰教区支部総会	5 月 11 日 (月)	山陰教堂	なし	
	矯正教化連盟広島支部 (教誨師) 研修会	2016 年 2 月	山陰教区担当		
	教区報「山陰」発刊 1000 部	(132 号、133 号、134 号)			
	ホームページ「山陰教区」 http://www.saninkyoku.net				
広報出版	妙好人カレンダー発行 (22,000 部)				
	各施設カレンダー配布	12 月			
社 推	連絡協議会				
	連絡協議会				
ビハークラ	ビハークラ山陰総会・研修会	5 月 19 日 (火)	山陰教堂	安部睦美師	
	第 9 回ビハークラ活動第 4 連区集会		四州教区		
	ビハークラ講座		山陰教堂		
僧 侶	僧侶研修会	2016 年 4 月			
	勤式講習会 (僧侶研修会と併修)	8 月 26 日・27 日 (水・木)	出雲市民会館	内藤知康師	
門 推 協	勤式講習会 (僧侶研修会と併修)	8 月 27 日 (木)	出雲市民会館	山崎崇峰師	
	総会・研修会				
布 教 団	実践運動研修会				
	第 4 連区門徒推進員実践運動研修会				
	門徒推進員の集い (本山)				
	会報「ともしび」第 17 号発行、900 部				
	総会・研修会	4 月 14 日 (火)	山陰教堂		
総 代 会	地区別布教大会	2 月 22 日～23 日			
	青年布教使育成教区研修会				
	第 4 連区布教使研修会	7 月 1 日～2 日	備後教区		
	第 4 連区青年布教使研修会	10 月 20 日～21 日	山口教区		
	研修旅行	7 月 14 日～16 日	鹿児島		
仏 教 社 年 会	寺院振興「ともしび法座」(14 年目)				
	総代研修会 (鳥取)	11 月下旬	鳥取伯耆組		
	総代研修会 (出雲)	12 月上旬	出雲市民会館		
	総代研修会 (石見)	12 月上旬	石見地区寺院		
	会報「門徒総代会だより」発行	3 月			
仏 教 婦 人 会	総会・研修会	5 月 10 日 (日)			
	ブロック研修会	鳥取地区			
		石見地区			
		出雲地区			
	連区連絡協議会		備後教区担当		
少 年	全国大会				
	会報「社創」発行				
	教区仏婦連盟総会・研修会	5 月 13 日 (水)	松江テルサホール	野村康治師	
	実践運動研修会	9 月～10 月	出雲市民会館		
	仏婦若婦人研修会	7 月・10 月 (2 回)	松江・たちばな、茶室	福岡信隆師	
	連区連絡協議会		広島別院		
	第 15 回世界仏教婦人大会	5/27～6/4 (大会5/30)	カナダ・カルガリー		26 名
	仏教婦人幹部研修会	6 月 18 日～19 日	本願寺		教区委員長
	若婦人中央研修	10 月 31 日～11 月 1 日	本願寺		
	総連盟総会	4 月 18 日 (土)	本願寺	中川清昭師	14 名
保 育	寺族婦人研修会				
	寺族若婦人研修会				
	会報「寺婦のひろば」発行				
	総会・研修会				
	指導者研修会				
仏 青	少年連盟中央研修会				
	中・四国ブロック指導者研修会	6 月 24 日 (水)			
	少年教化推進者研修会				
	広報紙「はばたき」発行				
	まこと保育大学講座 (連区) (山口)	7 月 29 日～30 日	岩国市内		
野 球	全国保育大会		北海道		
	総会・理事会	4 月 28 日	浜田組光西寺		
	教区まことの保育入門講座				
	全国真宗青年の集い				
	第 60 回中央研修会				
勤 式	仏青ブロック研修会				
	教区の集い				
野 球	本山成人式				
	第 39 回全国寺族青年軟式野球大会				
勤 式	中・四国地区寺族青年野球大会				
	法務員・特別法務員連絡協議会・勤式研修会	9 月 3 日 (木)	山陰教堂		
勤 式	勤式練習所				
	勤式練習所				

平成 26 年度ともしび法座実施一覧

開催組	開催寺院	法座名	開座日		開始時間		出講講師
			平成26年				
松江	蓮生寺	永代経	5月24日 (土)	10:00~	一座	菅原 俊軌	
々	願誓寺	々	5月24日 (土)	13:00~	一座	々	
々	福萬時	々	5月25日 (日)	10:00~	一座	々	
々	誓願寺	々	5月25日 (日)	13:30~	一座	々	
邑智西	浄蓮寺	永代経	6月8日 (日)	13:00~	一座	三瀧 香順	
江津	住蓮寺	永代経	9月18日 (木)	13:30~	一座	藤澤 行治	
佐波	大光寺	永代経	11月8日 (土)	13:00~	一座	毛利 聡真	
大田東	禮善寺	報恩講	11月9日 (日)	13:00~	一座	三浦志保子	
江津	蓮生寺	報恩講	11月15日 (土)	13:00~	一座	齋藤 友法	
邑智西	浄蓮寺	報恩講	11月16日 (日)	13:30~	一座	中村 英晴	
江津	浄念寺	報恩講	11月23日 (日)	13:00~	一座	加納 真	
大田西	浄林寺	報恩講	12月1日 (月)	13:00~	一座	小笠原宣隆	
鹿足	了徳寺	御正忌報恩講	平成27年 1月9日 (金)	9:30~	13:30~	篠部 洪紀	
大田中	浄連寺	御正忌報恩講	1月17日 (土)	13:30~	一座	小野 隆志	

ビハール山陰公開講座

「あなた往く人、私少し遅れて往く人、
ともに浄土へ還る人」

飯南組 福蔵坊 高橋 浩文

今年度のビハール山陰公開講座にお招きした長倉伯博先生は、地元鹿見島で医療関係者とともに緩和ケア・ネットワークを立ち上げ、チームの一員として終末期の患者・家族のケアに取り組まれています。

先生は、「ビハールとは、医療や福祉と協力しながら苦である現実と向きあい、仏教を通してその苦を乗り越え人生の意義を見出す助けとなる活動である」と捉えておられます。

私はこれからの僧侶と寺院には、ストレスが増大する社会にあつてカウンセラーと居場所としての役割、人間関係が希薄化していく社会にあつて繋ぎ役と集いの場としての役割が時代の要請となり、より求められると考えています。

そのためには、傾聴ボランティアやビハール研修会などにできるだけ参加するようにしています。

しかしながら、公開講座での数々の事例の壮絶な生き様や苦悩に、今まで病院とは無縁だと思っていた私自身の世間の狭さを知り、自分中心で身勝手、傲慢な姿勢を恥ずかしく思いました。

今回、患者さんたちに寄り添う基本的態度として、傾聴・受容・響感で決して押しつけないこと、「がんばって」は言わず、問題解決者でも回答者でもなく伴走者の関係でありたいと話されました。

誰かに相談したいと思っている人は、大抵信頼、安心できる人には話すのでしようが、話しやすい人、傍らにいてることを許してもらえ、そういふ存在であることを心しておくべきと感じました。

最後に、「ベッドサイドに仏教がある風景」を実現していくため、僧侶としてグリーンケア、喪失の痛みをケアする学びと営み、門徒さんに相談に来てもらえる寺でありたいなど助言をいただきました。

今後、そうした視点で仏事を見つめ直し、門徒さん方と法縁を深めるなかで、歩むべき道を拓いていきたいと思えます。



自分史、家族の記録、写真集、イラスト・スケッチ集(絵手紙集)、絵画・書の作品集、旅行記、歌集・句集、研究書(地区の歴史、地名の由来、趣味の研究記録)、地域の昔話集、絵本、団体・サークル活動記録・記念誌、寺院の歴史・記録、お勤め用冊子など

お安く、お手軽な個人出版なら **ハーベストブック** が断然お得!

先ずはお電話・FAX・メールにてお問い合わせ、ご相談ください

株式会社 蓉舌印刷 Tel (0852) 36-5888 Fax (0852) 36-5889 mail : vodka@tprint.co.jp (担当・岩橋)

手をあわせ 心あわせて しあわせに

報恩

感謝



ぶつだんの

内田 稔造 商店

・木次・下熊谷・出雲
☎0854-42-0266 ☎0854-42-3711 ☎0853-21-3253

2015(平成27)年度 山陰教区勤式練習所日程

西部会場：江津組浄光寺（江津市千田町451）
東部会場：本願寺山陰教堂（松江市大正町443-1）

Table with 7 columns: 回 (No.), 月 (Month), 日 (Day), 曜日 (Day of Week), 会場 (Venue), 時間 (Time), 講義内容 (Lecture Content), 備考 (Remarks). It lists 10 sessions from April to March.

※西部会場の講義（4月～7月）と東部会場の講義（12月～3月）は、同じ内容で行います。
また、9月と10月は特別プログラムとして実施いたします。

＜お問い合わせ・お申込み＞

山陰教区教務所 勤式練習所事務局
〒690-0002 松江市大正町443-1
電話 0852-21-4747 FAX 0852-27-8351
メール gonshiki@saninkyoku.net

「災害ボランティアネットワーク」登録者募集について

今般、社会部（災害対策担当）より、標記の件について登録者を募集してまいります。宗門全体でより強力な災害対策を推進するためにも、本災害ボランティアネットワークへの登録をお願い申し上げます。

目的…非常災害時に備えるため、救援・復興支援活動に従事するボランティア登録者を宗門内から募り、ボランティアネットワークを構築したいというものです。
経緯…東日本大震災や、今後南海トラフ

ラフ巨大地震などの非常災害も想定される中、宗門全体でより強力な災害対策を進めるため、指示系統、情報の二元化を図りたいと願われていることです。

体制…ボランティアが必要と判断された場合、登録者へボランティア活動の要請が来ます。
募集…個人でも、団体でも歓迎されます。
※申込みやお問い合わせは、教務所までご連絡ください。

「寺おこし事業の紹介」
情報提供のお願い

全国的に過疎・少子高齢化が進む中、寺院活動の活性化や寺院周辺の地域おこしのための事業を宗派が始めました。それが「寺おこし事業」です。情報を提供いただくことにより、本願寺ホームページ等で紹介されます。

たとえば自坊やお知り合いで、物品の生産加工販売事業などなさっていらつしやれば、「寺おこし事業」をご利用頂くことにより、全国の寺院の法座や行事での記念品として購入していただくなど流通の促進が期待できます。

また、宿坊や精進料理などの活動や、さまざまな研修旅行に利用いただくなど、今までごく限られた地域や、独自の努力で行われていた活動に対しても、「寺おこし事業」の活用により、全国の寺院が顧客になる可能性があります。

逆に、自坊で記念品やお扱、研修旅行プランなどに困ったという時に、利用者としてバックアップいただけると等、全国規模の寺院活性化も期待できます。

詳しくは、宗報をご覧いただくか、宗派（本山）寺院活動支援部「過疎対策担当」までお問い合わせください。

重点プロジェクト事例紹介

本号から、各組や寺院などで実践運動のヒントとなるような活動をご紹介したいと思えます。

邑智西組の事例紹介

「災害支援・互いにたすけあう」（組・実践目標）として、東日本震災に支援金を送る活動をしました。

平成二十六年七月十三日（日）午後二時から四時まで、会場は矢上の交流センター多目的ホールでチャリティーコンサートを開催しました。従来から催している「人生講座」を「チャリティーコンサート」として入場券一、〇〇〇円を購入して頂き、それを東日本大震災の支援金に送りました。参加者は二五五名でしたので二五五、〇〇〇円（諸経費を含む）を支援金として送ることができました。

コンサートでは、福山市専光寺坊守でオペラ歌手として活動されている藤井文子さんにお越しいただきました。備後教区ボーモリーズでコーラス指導もなされています。「なつかしの歌声喫茶」と題して仏教讃歌やなじみ深い歌のコンサートでした。

チケットの配布は寺院と仏教婦人会にお願ひしました。当初目標人数を二〇〇名としましたが、予想以上にご参加頂きました。入場者からも「とてもよかったです」「癒された」と好評でした。

二月十四日に映画 A2 | B | C の上映会が大田アステラス会場、島根県立大学浜田キャンパス会場の 2 会場でイアン・トーマス・アッシュ監督を迎えて開催されました。上映会を開催するにあたり有志で A2 | B | C 上映実行委員会を立ち上げ、私は事務局を担当させていただきました。当日は両会場合わせて約三六〇人の方々が上映会にご参加くださいました。

映画の題名の A2 | B | C とは甲状腺に発生した嚢胞や結節の大きさの判定レベルをあらわす表記で、本映画では甲状腺検査で A2 判定を受けた子供達とそのお母さんを取りあげて、福島で暮らすことの厳しい現実や、不安、憤りの証言を記録しておられました。

私はこの映画会に関わるまでは危険であれば対象地域から避難すべきだと思っていました。ですが、映画を観て、そして、この上映会をきっかけにして知り合った原発事故によって島根に避難された方々や、一時的に避難をしても福島に帰らざるを得ない方たちの話をお聞かせいただくなかで、「様々な事情があり留まらざるえない人」、「避難することを選択したことで仕事や家を失い、子供と車で寝泊まりをしながら、場所を点々として住む所、生活ができるところを探したという人」、各々に複雑な状況があることを知らされました。

『避難する』という選択をしても、『被災地に留まる事』を選択しても、そこには大変な苦勞や不安があることは当然容易に考えつくはずなのです。ですが、私はそこに伴う大変な苦勞や不安をまったく考えずに安易な考えをしてしまっていたのだと気付かされるのと同時に、「避難すべきだ!」という一つの言葉や想いがそこに留まらざるを得なかった人達を



傷つけていたのかもしれないと思うようになりました。

上映会のパネルディスカッションにて、パネラーの方が「福島にいてことを選んだことも尊重されなければならぬし、福島から避難するということも尊重されなければならぬ。どちらの行動も非難されるべきではない。」と仰っておられました。しかし、その選択をするのに正確な信頼できる情報が必要です。実際、

放射能が人体に与える影響はまだほとんど解明されてはいないのに、「まだ解明されていないから、わからない。」ではなく、「大丈夫です、安全です。」というのはあまりに不誠実です。

原発事故に関しては様々な情報が飛び交ってなにを信用して良いのかわからないという現状なので、考えるのをやめてしまった方が楽なのではないかという事もあるかもしれません。ですが、イアンさんは「福島に行きたいわけではない。何かを伝えたいわけでもない。そこに、行かなくてはならない理由が、伝えなくてはならない理由がある。それに自分は気付いてしまった。もう知らん顔でできなくなった。引き返せないんだよ。」と仰っておられたそうです。大切なことは考えるのをやめて、思考停止しないこと、一人一人がこの問題とどう向き合っていくかということを考えて続けることだと思います。

この映画会を通して監督やスタッフの方々、映画会をきっかけに知り合い、ご尽力いただいた地元の方々、そして原発事故以降に島根に避難された方々と、沢山の出会いをいただきました。そうやって少しずつ人の輪を広げて、色々な人達の考えを聞いて、これからの問題と向き合っていく、自分からすべき事を考え、行動していけたらと思っています。

常例線布教

4月	小野 隆志 (三隅組専正寺) 【18日のみ目次知浄】
7月	那須 英信 (備後教区沼隈南組善正寺)
9月	柳 樂 由乗 (出雲組龍善寺)
10月	石橋 泰範 (邑智西組光西寺)
3月	特留 宣裕 (大田西組法久寺)

ホームページに書式ダウンロードページを新設

山陰教区ホームページ (<http://saninkyoku.net>) に、書式ダウンロードのページを設置しました。

本願寺山陰教堂使用規定、仏婦連盟ガウン借用申請書、災害ボランティア登録申込書といった教区関係書式をダウンロードし、プリンタで印刷してご利用いただけます。(掲載ご希望の書式等がございましたら、当教区教務所までご一報ください。)

ダウンロードページアドレス → <http://saninkyoku.net/document>

お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・



伝統工芸 京仏壇・京仏具



www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入
☎(075)371-3131 代 年中無休 予600-8218

フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店
近江草津店・福岡(営)・新潟(営)

E-mail info@wakabayashi.co.jp





組長就任と同時に展開された実践運動も瞬く間に三年が経過しました。

これまで取り組んできた基幹運動の実績を踏まえつつも実践運動の重点プロジェクトの実践目標「日常の寺院活動―地域につながる人と、人のつながりの育成」を三年間の推進計画として展開して参りました。

○鳥取伯耆組実践運動委員会設置並びに規則の策定。

○実践運動の目的と活動内容を協議会に諮り、企画策定し組内各寺院の教化団体を通じて実践していく。

○基幹運動推進で取り組んできた門徒会運動・同朋運動も鳥取ブロックとして継承し、更に社会における人と人のつながりを大切に、特に親子の絆を深めるよう努めていく。

○平成二十四年度より実施された実践運動の啓発と成果を検証しながら、改善或いは反省すべき問題点が見受けられるならば組内の総括として協議していく。

当組内の寺院は世代継承が進み、三十代・四十代の若手任職を中心に積極的にこれらの活動を行っております。

比較的順調に実践運動は進んでいますが、今後の課題として、参加者減少による休講中の連研の早急の実施と充実をはかり、又、連研講師は従前のおり任職のスキルアップも兼ねて持ち回りとすることで実施します。

それに伴い、連研修了者の門徒推進員中央研修参加要請と組織化の必要性を感じ、他の組より進捗状況が遅れていた点を反省し、急遽推進計画に組み入れることになり、平成二十六年途中で門徒推進員協議会設立準備会を立ち上げ、協議を重ね設立に至った次第です。

現在、十四名での会員構成ではありますが、実践運動の根幹に仏法の妙味である自信教人信の言葉の重みを深く頂き、自利利他の意味合いを共に実践しながら組内各寺院の実践運動の展開に大きな役割を担っていただけていると思います。

編集後記

教区では多くの研修会・行事等を実施していると改めて思いました。ただ多くの「会」に参加されている方と、全く参加されない方があるようで、今後多くの皆様に積極的に参加していただきたいものです。そして私こそ感想・報告を書こうという方は、申し出ていただきたいと思います。

もう四半世紀も前のことですが、拙寺に「マルサの男」が来たというのをこの教区報に書いたことがありました。その時は対応に追われる程多くのお寺から問い合わせがありました。教区の方々が興味のあること・切実な問題等もこれから取り上げていきたいと思えます。編集委員の立場ですと、依頼した原稿はすぐにでも書いてほしいものですが、自分がいざ書くとなるとなかなかそうはいかないものようです。(RS)

協賛

〒七三三〇八五一
 広島市西区田方三丁目
 九〇九一―一三〇一
 TEL〇八二―二七二―八四六一

観光庁長官登録旅行業第1926号

株式会社 近畿日本ツーリスト中国四国 山陰支店

〒690-0887 松江市殿町517 アルファステイツ殿町1F

TEL:0852-22-4893

FAX:0852-27-8359

総合旅行業務取扱管理者 青山光弘